

アジア太平洋地域のビジネス界から APEC 首脳へ、
「経済成長の加速」と「雇用創出」と「長期展望」を

2011年11月10日
ハワイ、ホノルル

ABAC は本日、繁栄と持続を生み出すための計画として、表題の3つのポイントを APEC 首脳に提言すると、発表した。ABAC は、13日（日）に行われる各国首脳との対話に先立ち、アジア太平洋地域のビジネス界のリーダーが集まり、ここホノルルで今年最後の会議を開催した。会議を通じ、ビジネス界のリーダー達は、域内ビジネスの優先的課題にスポットを当てた。

「金融市場の緊張と世界経済再均衡の進展不足により世界経済の成長が阻害され、その結果として巨額の債務と経済の低迷が引き起こされている。この状況は民間投資の意欲を喪失させ、世間一般の不満を生んでいる。」と ABAC 議長のデブ・ヘンレッタは述べ、さらに「我々の3つの考えは、成長を刺激し、雇用を創出し、地域のより多くの人々に利益を保証する狙いがある」と語った。

ABAC の考えは、域内のイノベーションと経済成長の原動力である中小・零細企業への融資を拡大するよう、APEC の国と地域に求めている。APEC 全体として、中小・零細企業は、全てのビジネスのおよそ 90%をしめ、労働力の 60%近くを雇用している。しかしながら輸出の約 30%を占めるにすぎない。明らかに、中小・零細企業を成長させるという政策を実行する必要がある。中小・零細企業の貿易を阻害している最大の原因は融資問題にあると、ABAC では見ている。

さらに我々は、将来の貿易協定が、サービス・投資・イノベーション・サプライチェーン・規制統一の分野において生じる「次世代」の課題を確実に扱うよう、APEC 首脳に求める。例えば、サービスは APEC 経済において重大な役割を演じているし、ほかのどんな地域よりも全体の成長により貢献している。APEC メンバーの GDP 平均の 50%以上を生み出し、域内の雇用、とりわけ女性と若者の雇用の 60%以上を創出していることになる。

「次世代」の課題の中で、より効率的なサプライチェーンを構築することが、APEC 地域にとって真のインパクトを持つことになる。ABAC が依頼した調査によると、通関手続きと規制の透明性とインフラに係る問題がビジネスにおける最大の障壁である。ABAC は、APEC 地域が、今日のビジネスのあり方に適した貿易協定を導く先鋒であらんことを期待する。これらの課題を解決することで、APEC は包括的で高品質なアジア太平洋の自由貿易圏を達成できるであろう。

最後に、APEC 首脳に対して、グリーン成長を推進するための更なる基準作りを求める。

すなわち、環境物品サービス（EGS）における関税と非関税障壁を処理すること、そしてグリーン技術を向上させるために有効な市場ベースのメカニズムを創造することである。そして APEC メンバーの間でベスト・プラクティスを分かち合うことは、すぐれた技術と製品の普及を容易にする。

ABAC は 2011 年意欲的な活動計画を策定し、強力な結果を導き出した。その結果とは政府と民間が参加する 2 つのポリシー・パートナーシップのことであり、一つは食料安全保障、もう一つは経済活動における女性の役割についてである。さらに以下の成果も含まれている。それらは、APEC 非拘束的投資原則のアップデート、サプライチェーンとバリューチェーンの枠組みの開発、ABAC 女性フォーラムの創設、投資に関する調査研究の完了、エネルギー安全保障、規制統一、サービスと革新的成長、である。

以上